

## 2018年度 千葉大学 前期理系 第1問

**問題** 初項が1で公差が6である等差数列  $1, 7, 13, \dots$  の第  $n$  項を  $a_n$  とし、また初項が3で公差が4である等差数列  $3, 7, 11, \dots$  の第  $m$  項を  $b_m$  とする。2つの数列  $\{a_n\}, \{b_m\}$  に共通に現れる数すべてを小さい順に並べてできる数列を  $\{c_k\}$  とし、2つの数列  $\{a_n\}, \{b_m\}$  の少なくとも1つの項になっている数すべてを小さい順に並べてできる数列を  $\{d_l\}$  とする。したがって  $c_1 = 7$  であり、また数列  $\{d_l\}$  のはじめの5項は  $1, 3, 7, 11, 13$  となる。

- (1) 数列  $\{c_k\}$  の一般項を求めよ。
- (2) 数列  $\{d_l\}$  の一般項を求めよ。
- (3) 数列  $\{d_l\}$  の初項から第  $l$  項までの和  $S_l = \sum_{i=1}^l d_i$  を求めよ。

N\_chiba2018A\_01.pbm